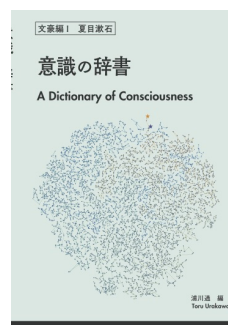
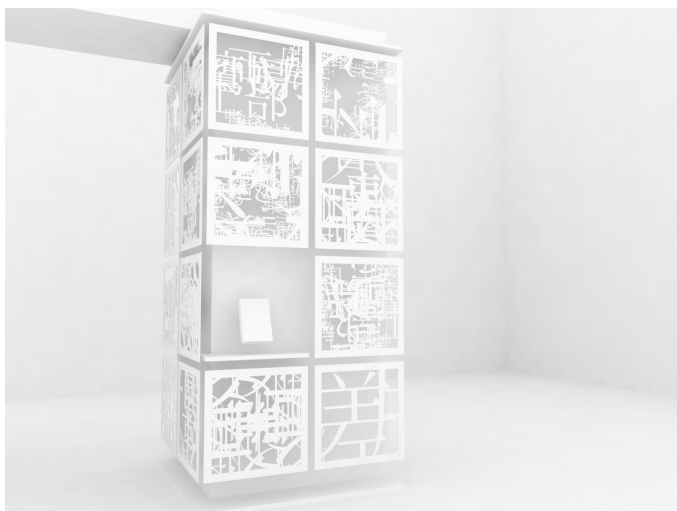


多様なゲストキュレーターが選ぶそれぞれの「スペクトラム」

Spectrum File 18 浦川通

会期：2017 年 9 月 25 日（月） - 10 月 9 日（月・祝）

会場：MINA-TO（スパイラル 1F）



（上）
辞書『意識の辞書 文豪編! 夏目漱石』
表紙イメージ
（左）
辞書に関連した空間インス
レーションイメージ

スパイラルは、2017 年 9 月 25 日（月）—10 月 9 日（月・祝）に MINA-TO（スパイラル 1F）にて、多様なゲストキュレーターが推薦者となり、彼らを選ぶアーティストを紹介する展覧会シリーズ「Spectrum File 18 浦川通」を開催します。

18回目を迎える本展では、ファッションブランド「ANREALAGE」のデザイナー、森永邦彦を推薦者に迎え、プログラマーとしてモバイル・アプリケーション制作、舞台演出用システム設計などに携わりながら、近年は日常生活で用いるものを数理的な視点と共に成立させることに興味を持ち、種々の活動を行なうアーティスト、浦川通を紹介します。2016 年、囲碁 AI（人工知能）が初めて人間のトップクラスの棋士を打ち破り話題となりました。機械学習周辺の進歩による社会への影響が問題視される今、浦川は“コンピュータと人の協業”の一つとして、機械学習によって得られたデータに自身が選定・省略などの編集を加えた「辞書」の構想に思い至ります。その辞書は、ある特定の時代や、文化を共有する集団あるいは個人の持つ、意識や感覚の流れを浮かび上がらせた『意識の辞書』と呼ばれ、本展では、近代文学の巨匠「夏目漱石」の意識の流れの一つの書物としてまとめ上げます。浦川は、夏目の複数の小説から膨大な数の単語を収集、その単語の前後に並ぶ言葉の出現頻度の類似性を分析し、似たような使われ方をする単語同士をより近くに並べていきます。五十音順ではなく、夏目の中で近い意味を持つ言葉が連続的に連なる、意識のスペクトラムが俯瞰できる全く新しいスタイルの辞書。会期中は辞書を展示販売するほか、辞書を基点に言語空間が広がっていく様子をインсталレーションで再現します。夏目が「未来」について考える時、同時にどんなことを考えているのでしょうか。ぜひ会場で辞書を引いて確かめてみてください。

この機会に、ぜひ掲載のご検討をお願いいたします。

■「スペクトラムファイル」について

「スペクトラム」とは、英語で“連続体”や“領域”、プリズムを介して生じる色彩の配列を意味します。現在、既存の表現の垣根を超え、国籍も世代も問わず、領域横断的に創作をする新しいクリエイターが各地で活動しています。2015 年から始まった展覧会シリーズ「スペクトラムファイル」では、多様なゲストキュレーターを招き、社会に気づきをもたらす表現の可能性について対話を深めながら、表現の境界領域に潜む未知の才能を拾い上げ、広く紹介していきます。

■掲載に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター 広報部 浅野仁美

〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7840

E-mail press@spiral.co.jp http://www.spiral.co.jp

spiral

推薦者の言葉

日常と非日常は“境界”で分けられるような対概念ではなく、常にあいまいな境界をもちながら“連続”している二つの世界であると思う。非日常は、日常からかけ離れた世界ではなく、日常の中にこそ埋もれている世界であってほしい。

浦川は、数理的視点から日常と非日常の境界を揺さぶり続ける。メディアアーティストやコンピュータープログラマーという言葉をきくと、血の通った人間や、揺れ動く気持ちと密接にある“日常”から、遠く離れた世界を想像してしまうが、彼がつくりだすものはそうではない。

浦川は、あくまでも、日常の中に埋もれている‘数理的思考’を拾い上げる。そして、コンピューターを駆使した壮大な機械のインスタレーション作品における複雑な数理をつくるのではなく、誰もが触ったことのある日常的生活用品や、誰もが経験したことのある日常的な現象の中に拘る。

0と1、プログラム言語、距離、情報とノイズ、遠近感、そういった数理的思考と、カードゲーム、辞書？はたまた、サンドイッチ、エプロンといった日用品を、連続した世界として接合してしまう。それらの領域の接点には、未来的で斬新な世界ではなく、より「感覚」や「感情」というものに寄り添った原始的、かつ普遍性をもった世界が存在していることを、彼の作品から知ることができる。

浦川が発見をした新しい日常がここからはじまることを願う。

プロフィール



アーティスト 浦川通 Toru Urakawa

2013 年早稲田大学大学院修了（基幹理工学研究科・数学応用数理解専攻）。School for Poetic Computation 2014 年秋クラス卒業。

日常生活で用いるものを数理的な視点と共に成立させることに興味を持ち、種々の活動を行なう。主な制作物・活動にバイナリカードゲーム（2014 年-）、Coded Textile（2016 年、ANREALAGE との共作）など。



推薦者 森永邦彦 Kunihiro Morinaga

1980年東京都生まれ。ANREALAGEとは、A REAL-日常、UN REAL-非日常、AGE-時代、を意味する。大学在学中にバンタンデザイン研究所に通い服づくりをはじめ。 「神は細部に宿る」という信念のもと作られた色鮮やかで細かいパッチワークや、人間の身体にとらわれない独創的なかたちの洋服、テクノロジーや新技術を積極的に用いた洋服が特徴。2003 年「アンリアルレイジ」として活動を開始。2014年15S/Sよりパリコレクションデビュー。www.anrealage.com

◆辞書販売のご案内◆

本展で展示する辞書『意識の辞書 文豪編Ⅰ 夏目漱石』は MINA-TO にて販売します。

毎日の暮らしの中で、近代文学の巨匠の感覚が息づく書物を手元に置いてみてはいかがでしょうか。

販売期間：2017 年 9 月 25 日（月）-10 月 9 日（月・祝） 11:00-20:00

販売場所：MINA-TO（スパイラル 1F） サイズ：四六版 販売価格：2,400 円＋税

開催概要

Spectrum File 18 浦川通

会期：2017 年 9 月 25 日（月）-10 月 9 日（月・祝） 11:00 - 20:00 会期中無休

会場：MINA-TO（スパイラル 1F） 東京都港区南青山 5-6-23

主催：株式会社ワコールアートセンター 企画制作：スパイラル

データ解析：梶原侑馬 (Qosmo, Inc.) データビジュアライゼーション：ロビン ジャンガース (Qosmo, Inc.)

表紙デザイン：三ツ間菫子 本文デザイン：渡邊唯 (TWOTONE)、廣瀬健 (TWOTONE)

空間デザイン：末富亮

※Spectrum File の過去の展覧会の詳細は下記にてご覧いただけます。

Spectrum File アーカイブ 1-10 <http://www.spiral.co.jp/spectrumfile01/>

Spectrum File アーカイブ 11-17 <http://www.spiral.co.jp/spectrumfile02/>